

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第十三号

高橋会長年頭ご挨拶



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族ともども良い年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は大変ご協力を賜り有難うございました。本年もよろしくお願いたします。

当OB会は昨年も二十数名の新しい会員を迎え、会員総数六百名近くとなり年々発展しています。とはご同慶の至りでございます。さて少子高齢化社会到来の時代、会社定年以降もそれまで積み重ねた知見・能力を発揮して社会に貢献することが求められています。

OB会もこうした時代に即したお役立ちができればと思っております。かかる環境のもと、会の運営方針としては年一回の総会のほか、引き続きスポーツや歩く会などの健康増進或いは趣味の会などの催しを積極的に進め、会員相互

の親睦を深めるとともに、皆様の健康の維持・増進にお役立ちできるように念じて取り組んでおります。年々各支部での活動が活発になって参りましたことは大変喜ばしいことであり、これらの会の運営に携わっている方々のご努力に感謝するとともに、お時間の許す方の多数参加を望んでいます。これらの活動の詳細はホームページに写真を添えて掲載していますので是非ご覧下さい。

ホームページは会の活動のみならず会員個人のユニークな活動の投稿も載せることにしており、会員の動静を知ったり、趣味の交流を図る場としての活用を望み、編集部も強化しておりますので、ご活用のご望んでいます。

本年度総会は別掲のとおり長浜工場にて開催しますので奮ってご参加下さい。皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。

大阪支部定期総会

平成十七年十一月十七日(木) 場所 ホテルサンルート梅田 参加者 二十四名 山口滋支部長、加藤敏雄、宇塚正、岡本益弘、奥田公具、小野博三、加藤龍雄、熊

倉寛、内藤次生、中谷昌弘、中村光男、夏川清、西本郁夫、能瀬庄一、平井穰、福井久、町田富美夫、松本弘、宮本二四彦、山口陸雄、山本功、吉田康子、小川支社長、古川千佳子(現役)



開会に当り、山口支部長からゲストの小川関西支社長、古川さん、初参加の夏川さん、能瀬さんの紹介があり、次いで、年次活動・収支報告および欠席の方々の近況、コメントの披露後、加藤さん、支社長のご挨拶、町田さんご発声による乾杯と続き、酒宴が始まった。卒寿を迎えられたお二人を始め、皆さんお元気なことで、四テーブルを歩き交う姿が若々しい。宴たけなわの頃、某氏より有志

での忘年会の提案があり、賛同者多く、実現の可能性大である。名残りを惜しみつつ中締め、散会となり一握りの有志達は昔懐かし北の新天地へと足を向けたのであった。(熊倉寛記)

本年度OB会総会予告

平成十八年五月十九日(金) 場所 長浜工場 詳細は後日ご連絡します。

歩こう会

本部第四十八回歩こう会 逗子披露山、蘆花記念公園 平成十七年十月二十五日(火)

参加者十四名 市村義雄、伊藤敬輔、岩田幸三、澤田耕輔、木澤英雄、木原仁博、塩澤敏行、柘植茂、中川実信、平松久、野中矩仁、山根邦章、山谷章浩、吉井靖

当日は絶好のハイキング日和。正午前JR逗子駅前を出発。約五十分で披露山公園手前の駐車場に着く。木々の間を少し登って披露山公園に着き、各自思い思いに昼食、休憩を取る。公園の南端から見下ろす逗子湾から相模湾にかけての眺望は素晴らしい。江ノ島から茅ヶ崎、平塚辺りまでは見えるが、富士山は残念ながら霧か雲の中である。

午後一時二十分公園を出発、山道を下って浪子不動(正式には高養寺)へ。お不動さんの下の海中に徳富蘆花の名作「不如帰」の記念碑が立つ。浪子不動の前で幹事(野中)が、明治三十一年の国民新聞に

連載され天下の子女の涙を誘った「不如帰」の一節(肺結核になった妻・浪子が夫・武男に寄り添って、不動堂の前で「ああああ、人間は何故死ぬのでしょうか! 生きたいわ! 千年も万年も生きたいわ! : : :)と叫ぶ名場面を朗読、披露した。また、すぐ下の広場の「桜貝の碑」の前で「桜貝の歌」(NHKラジオ歌謡を、塩澤さんの独唱に合わせて皆で歌った。その後、武男と浪子が歩いた砂浜を歩き、蘆花記念公園に向かった。記念公園に入ると、郷土資料館に上るジグザグの坂道の脇に、蘆花の「自然と人生」の中に記された自然の移ろいが立て札に書かれて一月から十二月まで順に立っており、明治の頃の逗子の風物を偲ばせる。坂を上りきると元・徳川家達(いえさと)の別荘であった郷土資料館がある。管理人の解説で徳富蘆花・蘆花兄弟の資料、その他を見学。この窓から見渡せる逗子海岸や披露山の眺めも素晴らしい。



次に、六代御前の墓に向かう。小高い丘の上に在り、大きな樺の木が植わった墓だ。六代御前とは平家嫡流の六代目のことで、十二歳の時に北条時政に捕らえられ、一旦は助命されたが、二十六歳の時、源頼家の命によりこの地で斬首されたそうである。

疲れた足を引きずり、京浜急行・新逗子駅前を経由してJR逗子駅前に午後四時に到着。ここで解散、有志十二名は駅近くの「笑笑」で懇親会を開催。各自ホドホドに飲み、午後五時半過ぎにお開きとなった。(野中 矩仁記)

本部第四十九回歩こう会
寄席演芸を楽しむ

平成十七年十二月二日(金)

国立演芸場

参加者十四名 高橋義衛、坂本堅一、平松久、塩澤敏行、加藤進、市村義雄、石橋正康、吉井靖、徳光文穂、原田浩次、谷口勝利、山谷章浩、松内俊夫、柘植茂

年末恒例となった「国立演芸場の寄席」。十二時前に演芸場に到着。会場はほぼ六分の入り。買ってきた弁当を早速開いてくつろぐ。

十二時四十五分開演。

特技が日本舞踊(若柳流)の落語家による「かっぱれ踊り」、曲芸師による「太鼓の曲打ち」、「ラオ(羅尾)屋(キセル)」、「おでん屋」等約十五種類の売り声、トリの落語「竹の水仙・左甚五郎」等々、笑いあり、踊りあり、人情話あり、大鼓ありと寄席ならではの雰囲気。客席との交流の中、皆さん楽しい一時を過ごされたようです。

終演後、毎回同じ場所、演芸場から歩いて十分ほどのビル地下にある「えぞ会席」に移る。坂本さんの「楽しかった」で乾杯。寄席の話、健康、近況、来年三月開催の作品展、世間を騒がしている耐震偽装等々と話はずきない。参加された皆さん元気な様子。「良いお年をお迎え下さい」の高橋さんの声でお開き。十八時散会。(吉井靖記)



長浜支部歩こう会

航空自衛隊岐阜基地とかがみはら航空宇宙科学博物館見学

平成十七年十一月二十八日(月)

参加者十三名 神部勇作、立石堯、外海金太郎、富岡秀雄、中嶋清、西沢芳明、広瀬毅、広瀬洋造、森隆男、森川栄寿、世森幹裕、溝口厚雄、柴田清廣

各務原にある「航空自衛隊岐阜基地」と「かがみはら航空宇宙科学博物館」の見学会を行いました。午前中の約一時間は博物館を見学。

まず、屋外展示場では、救難飛行艇や旅客機、対戦戦戒機、ヘリコプターなどの実機を間近で見学した後、博物館内に入場。

飛行体験館では、航空シミュレーターでのアクロバット飛行を体験。ジェット機での九〇度、一八〇度回転、宙返りなどパイロット気分を体感。

実機展示場では、低騒音STOL実験機、F-1〇四J要撃戦闘機、ブルーインパルス仕様のT-2高等練習機等々、実験機を中心に航空機の移り変わりが分かる実機の展示品を見学。

テーマハウスでは、我が国宇宙開発の歴史と国産H2ロケットの模型による原理・仕組みを見学。さらに、明治四十三年国産第一号機飛行成功以来の我が国航空機の歴史や、様々の実験装置による飛行機の原理・仕組みなどを見学。

午後は、航空自衛隊の見学。岐阜基地は、各務原市にあり、明治九年に大砲射撃場として開設され、大正六年に陸軍の飛行場が設置されて以来、旧陸軍、米軍、自衛隊と引き継いで、日本で最も長い歴史の飛行場を持つ基地です。基地の面積は一二〇万坪、基地の総人員は約二五〇〇名、十を越える部隊や機関が活動しています。

主な部隊や機関としては、航空機装備品の評価試験飛行の実施、試験飛行操縦士の養成などを行う飛行開発実験部門、航空機部品の調達・保管および他の基地への部品補給などを行う補給処部門、侵攻する他国の航空機を対空ミサイ

ル「ペトリオット」により撃破する高射群部門、管制隊、気象隊、病院、自衛隊内の警備隊等々の基地所在部隊があります。



見学は、まず隊員と同じ隊内昼食をいただいで腹ごしらえをした後、広報館で自衛隊PRのビデオを鑑賞し、さらに、案内者より航空自衛隊の任務と、岐阜基地の任務などの説明を受ける。さらに、戦争中の写真や軍服、靴、水筒、銃、無線機等々の遺品の展示などを見学。続いて屋外へ出て、試験飛行中の飛行場を始め基地施設を見学。最後に品川沖から回収した零戦機や、新鋭機の採用で廃機となった飛行機の展示を見て見学会を終了。

航空自衛隊が防空、救難、国際緊急援助などの諸活動を通じて我が国の安全と平和に、今後とも貢献してくれらることを願いつつ帰路に就いた。(柴田清廣 記)

大阪支部第十八回樹楽会
西芳寺川畔く松尾山く嵐山渡月



橋

平成十七年九月二十六日(月)

参加者十一名 奥田公具、岡本益弘、内藤次生、中谷昌弘、中村利之、平井稯、福井久、町田富美夫、山口滋、山口陸雄、吉田康子

午前九時三十分、阪急嵐山線「松尾」駅に集合。快晴の下、駅前の「松尾大社」(古来日本第一醸造祖神として全国の酒造家より幅広い信仰を集めている)に日頃のお酒に感謝して参拝。

道すがら「鈴虫寺」(秋だけ鳴く鈴虫が季節に関係なく一年中鳴いているので鈴虫寺と呼ばれている)を経て西芳寺川へ。川筋には広大な西芳寺(天下一の名園と言われ銀閣寺など作庭の大本とされた、苔が素晴らしい庭園で通称苔寺と呼ばれる)の庭を横目に川畔を遡る。上流に格好の河原がありそこで昼食を取る。

標高四百メートルの「松尾山」を登り午後二時「嵐山」に到着。名物の湯豆腐を味わって散会した。

ゴルフ同好会

本部第二十四回ゴルフコンペ

平成十七年十月二十日(木)

湘南カントリークラブ

参加者十六名 菅澤武彦、佐藤昌二、大庭忠利、西林公助、小倉武司、牧原稔、渡部一蔵、篠島秀明、西野盛雄、高橋健二、永井正義、原田浩次、市村義雄、安藤明義、坂本堅一、亀田実

台風二十号と秋雨前線の影響で天候が心配されましたが、台風も過ぎ去り、天高く青々とした快晴で絶好のゴルフ日和でした。皆様心地良い汗を流し、満喫したゴルフをされたことと思います。

懇親会は渡部一蔵さんのご挨拶に始まり、表彰式、さらなるコンペ発展に対する意見交換等楽しいひとときでした。次回は五月中旬開催予定です。(永井正義記)

優勝 西野盛雄
準優勝 篠島秀明
第三位 佐藤昌二
B G 篠島秀明 八九



第三回千葉オープンゴルフ

平成十七年十一月八日(火)

新千葉カントリークラブ

参加者十一名 安田久雄、東田浩作、君塚康、山本猛、山崎勲、北川忠澄、長崎英太郎、西林公助、水島晃、徳永英之、石橋正康

当日は快晴。晩秋とは思えない暖かさで、半袖シャツでの快適なプレイとなった。千葉オープンゴルフも第3回となり定着した感じ。開催場所は「新千葉カントリー倶楽部」。かなりの起伏とコース間の距離に悩まされながらも、比較的短い所もあり、また、ローハンデイの人にとっては、いいスコア

の出やすい高麗グリーン。優勝・準優勝は、ともにネット七二で、前回の準優勝者と三位がそれぞれ一つずつ格上げで入り、次回の幹事役となる。次回は、四月下旬の予定。(石橋正康記)

優勝 山本 猛
準優勝 水島 晃
第三位 君塚 康



長浜支部第二五回ゴルフコンペ

平成十七年十月七日(金)

彦根カントリー倶楽部

参加者十七名 雨森作仁、尾本光弘、中村民夫、神部勇作、松宮正之、野田和久、加藤勲、柴田弥藏、矢作憲三、藤田稔、岩根信次、竹田善祐、山口滋、笹原榮之助、森川栄寿、武藤幹男、柴田清廣

今回は関西支部の山口さん、雨森さんも遠路参加いただきましたが、季節柄御用繁多の方が多く十七名の参加の大会になりました。午後の途中から雨が降り出したものの、小降り程度で大した支障もなく全員無事にホールアウト。

加藤さんはベスグロでの優勝で、さらに今回が三度目の優勝と、入賞常連者の実力を遺憾なく発揮されました。懇親会では次回はおつと沢山の方の参加で盛大な大会にしたいとの神部副会長のご挨拶でお開きとなりました。

優勝 加藤 勲
準優勝 笹原榮之助
第三位 柴田清廣
(柴田清廣記)



大阪支部第八回ゴルフコンペ

平成十七年十月四日(火)

神戸ロイヤルパインズGC

参加者十名 雨森作仁、宇塚正、岡本益弘、平井穰、松本弘、南野彰宏、山口滋、山本功、吉田康子、古川千佳子(現役)

降水確率五〇/六〇%の中スタート。アウトは傘無しで回われたものの、インは一時ざり降りに見舞われたが、なんとかワンラウンドを終了した。

優勝 平井 穰
準優勝 岡本益弘
第三位 古川千佳子



テニス同好会

本部秋季大会

平成十七年十月四日(火)

場所 ダイヤモンドテニスクラブ

(東京・高井戸)

参加者十八名 吉井靖、川上治夫、明吉章一、磯田智、土川猛弘、塚田邦昭、山本彊、藤原志朗、関守

二、中川芳高、宮下和久、港章、岡田五郎、菅原彦一、伊藤春生、井東政蔵、鳥居正義、石橋正康、西林公助懇親会のみ)

長年世話役を務めた西林さんが体調不良で、鳥居さんが世話役を引継がれた。春季大会は雨で流れたので、二年ぶりの大会となった。

高橋会長以下レギュラーメンバー六名を欠くも、井東政蔵さん十八歳を筆頭に最年少六十三歳までの元気な顔ぶれが揃う。

当日は各地霧雨模様の中、当地だけは朝方の小雨も上がり終日うす曇。

試合形式四ゲーム先取・ノンアド方式。組合せを変え一人四、五試合をこなした。例年の如く全勝者も全敗者もない和気藹々の大会であった。

終了後、恒例の有志による懇親会をクラブのレストランで行う。井東さんの米寿を祝い、各自の近況とテニスを始めたキッカケを報告。昔話に花が咲く。春の再会と西林さんの復帰を期して無事終了した。(石橋正康記)



フォトサークル2000

「第十二回撮影会」

佐渡撮影旅行

平成十七年六月十三〜十五日

参加者五名 青山新太郎 久保秀雄 山本猛 吉井道郎 山崎勲

佐渡島の北端の丘陵に咲くカンゾウの花の撮影を二泊三日でおこなった。

六月十三日東京駅に集合。新幹線が新潟へ。フェリーを乗り継いで午後三時両津港に上陸。レンタカーで佐渡の中央を東西に横断する大佐渡スカイラインに向かう。

途中の乙和池は天然記念物の浮島のある静かな池。水に映りこむ緑が素晴らしい。次いで、有名な尖閣湾に立ち寄る。日も傾くころ今夜の宿七浦海岸のホテルに急ぐ。夕食は数々の海の幸に地元酒。

程よく酔いが回った頃、沖にはイカ釣りの漁り火が点々、空には上弦の月とあれば酔いも吹き飛んで写欲満々、宿の庭に三脚を立てる。

翌日も快晴。我々は、団体客のほとんど訪れない島の北部に向かう。だから食事をする所も無いと聞いて相川のコンビニで握り飯とパンを買い占めて出発。所々で撮りながら島の大陸側外海府海岸を北上する。

私も五年ぶりの佐渡だったが、かつての海沿いの田圃が駐車場になつていたり、岩場の続く撮影ポイントも長いトンネルができて見えなくなったり、ここにも時の流れが押し寄せている。断崖を縫うように走る跳坂の難所を通過する

と、やがて目指すカンゾウの丘が近づく。海から二〇〇メートル屹立する一枚岩の大野亀の麓の丘に可憐なトビシマカンゾウが一面に咲き乱れている。聞くところによると、今年は当り年で花のつきも良いそうだ。一同丘のあちこちに散つて思う存分撮影に専念。

その晩は願(ねがい)という変わった名前の集落の旅館に泊まる。泊り客は我々五人だけ。目の前の海で採れたと言うあまり名前を聞かない魚や蟹、鳥賊、岩のりなどが食卓に上る。元美人のおかみとの話も弾む。

翌朝五時に再びカンゾウの丘へ。残念ながら天気はいまいち。風が強く花が揺れて絵にならず。朝食後戻りにかかる。内海府海岸を下、途中ドンデン山に登り大佐渡の雄大な景色に満足。

天気に恵まれた撮影行も無事終了。清水トンネルを抜けたら激しい雨。我々日ごろの行いが良かったと互いに言いながら解散。

(青山新太郎記)



趣味、健康、ライフワーク

長浜第九回ゲートボール菱友会

平成十七年十一月三十日(水)

参加者二十三名 竹友正夫、田中亘、丸山寛司、高田哲、藪田武司、脇坂文雄、寺村浜江、武内昌央、塚田義隆、中川正文、前田菊枝、小倉英義、北川久男、小山巖、今庄正義、小林剛、小林辰夫、浅井光男、松居稔、今中智、溝口厚雄、東田昭一郎、藤居美智子

毎回レベルの高い白熱戦が展開され、午前の九時から午後四時近くまで、時間の経過を忘れてしまうほど熱中するそうです。今回も五組に分かれて、リーグ戦一〇試合を、大きな声で仲間を激励しながら、それでも和気藹々と楽しんでおられました。リーグの北川さんは、町単位のチームを立ち上げたたり、来年、長浜市がびわ町、浅井町と合併するのを機に、記念競技を開催する計画を立てるなど、競技会の機会拡大にも尽力されています。

(柴田清廣記)



OB会事務局から

▽会員の状況

全会員数 五九三名 本部三三三名 長浜一七六名 大阪三七名 名古屋二〇名 九州二七名(平成十七年十二月十一日現在)

▽人事(平成十八年一月一日)

柴田壽一氏 幹事退任
矢作憲三氏 幹事就任
宮下和久氏 幹事就任
岸川 茂氏 名古屋支部長退任
伊藤 壽氏 名古屋支部長就任

▽訃報

伊豆亥兒殿 平成十七年七月二十日逝去
東野元貞殿 平成十七年八月十九日逝去
高野達男殿 平成十七年八月二十日逝去
乙竹利清殿 平成十七年九月二十日逝去
末松 幹殿 平成十七年十一月十八日逝去

慎んでお悔やみ申し上げます。

OB会作品展のご案内

会期 平成十八年二月二十七日(月)〜三月五日(日)
時間 午前十時〜午後六時
(初日は正午から、最終日は午後四時まで)

場所 神奈川県民ホール第一展示室 京浜東北線関内駅、石川町駅より徒歩十五分、みなどみらい線日本大通り駅から徒歩五分
問合せ先

平松久 電話 03-3700-1944
FAX 03-3708-6868

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7-2F
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚彦 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

編集委員

加藤 進	TEL/FAX:03-3709-3610	e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp
黒川 亮	TEL/FAX:047-447-2881	e-mail heichuan@m19.alpha-net.ne.jp
柴田清廣	TEL/FAX:0749-65-7834	e-mail shibapin@guitar.ocn.ne.jp
原田浩次	TEL/FAX:045-621-3355	e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp
吉井 靖	TEL/FAX:045-811-9390	e-mail yoshiiya@skyblue.ocn.ne.jp
宮下和久	TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618	e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

<http://www.obkai.mpi-mrc.co.jp/>